

ヘッド周辺の清掃

ヘッド周辺は、本機の中で最も汚れがたまりやすく、本機の動作や作図結果に影響を及ぼす恐れのある場所です。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用していますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。



- ヘッド周辺を清掃するときは、ヘッド周辺用クリーンスティック (SPC-0527) またはノズルスワブ (SPC-0421) をお使いください。通常の綿棒をお使いになると、糸くずが残って二次障害を引き起こすことがあります。
- キャリッジ下面も、インクやホコリの付着により汚れないように、合わせて清掃を行ってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイブ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- キャッピングステーションにあるインクキャップやファイバーも、合わせてメンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。
- キャリッジ下面、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがあります。清掃棒などでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。
- LUS-120 インクを使用している場合は、UJ 清掃棒を使用できません。

清掃に必要な道具

• メンテナンス洗浄液 (ML015-Z-B1)		
• ヘッド周辺用クリーンスティック (SPC-0527)		
• ノズルスワブ (SCP-0421)		
• UJ 清掃棒 (SPC-0386)		
• メンテナンス用クロス (SPC-0574)		
• 手袋	• 保護メガネ	• 手鏡



- 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1 ローカルで、**(FUNC1)** (MENU) を押す

2 **(▲)** **(▼)** を押して "メンテナンス" を選び、**(ENTER)** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 **(▲)** **(▼)** を押して "ステーションメンテ" を選び、**(ENTER)** キーを押す

- ステーションメンテメニューが表示されます。

4 **(▲)** **(▼)** を押して "キャリッジアウト" を選び、**(ENTER)** キーを押す

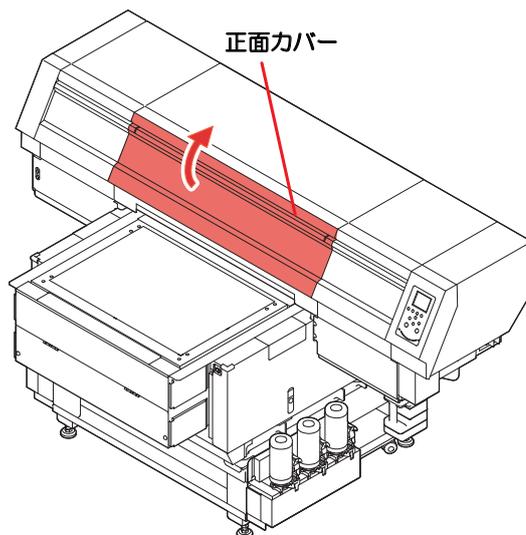
- "キャリッジアウト" が選択され、キャリッジが移動します。

重要!

- ディスプレイには「終了:ent」と表示されますが、手順7に進むまでは**[ENTER]**を押さないでください。

5

正面カバーを開ける



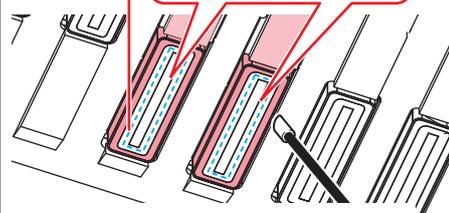
6

ヘッドの側面などに付着したインクを清掃棒で拭き取る

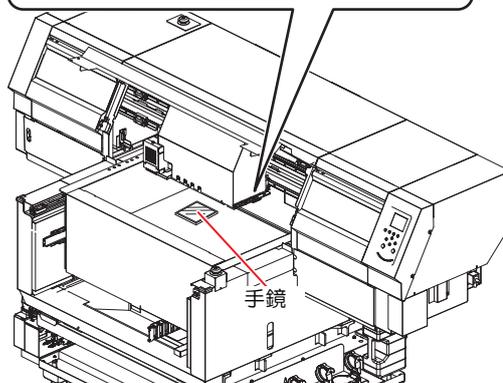
- クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ノズル面の周囲、ヘッドの側面、スライダー底面に溜まったインクを拭き取ってください。
- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。

ヘッドの側面 (濃い灰色部分) を清掃棒で清掃します。

ノズル部分 (絶対に触らないでください)



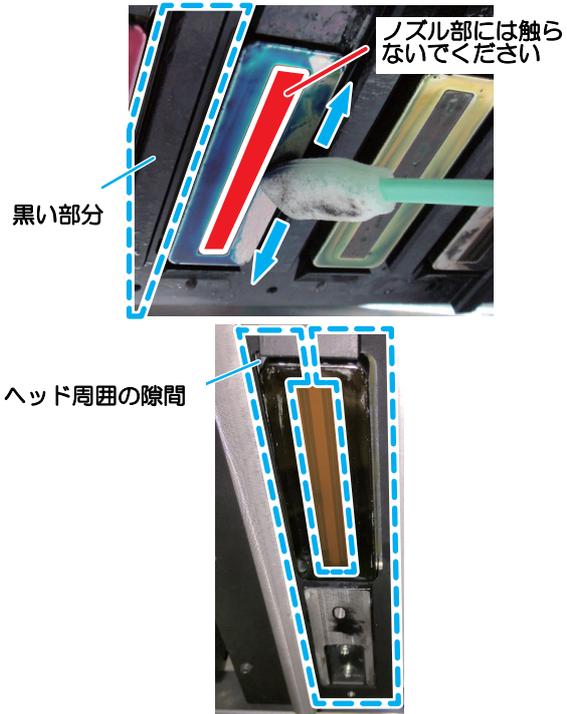
クリーンスティックで清掃します。



・ テーブルに手鏡を置いて、鏡を見ながら作業します。



・ ヘッド周辺の黒い部分、およびヘッド周囲の隙間に付着したインクも拭き取ります。



7

清掃が終了したら、カバーを閉じて

ENTER キーを押す

・ 初期動作後、手順 2 の表示に戻ります。



・ メンテナンス途中で席を離れる場合、[ENTER] キーを押して清掃を終了してください。そのまま放置すると外光の影響でインクが硬化し、ノズル詰まり等の弊害を及ぼす恐れがあります。